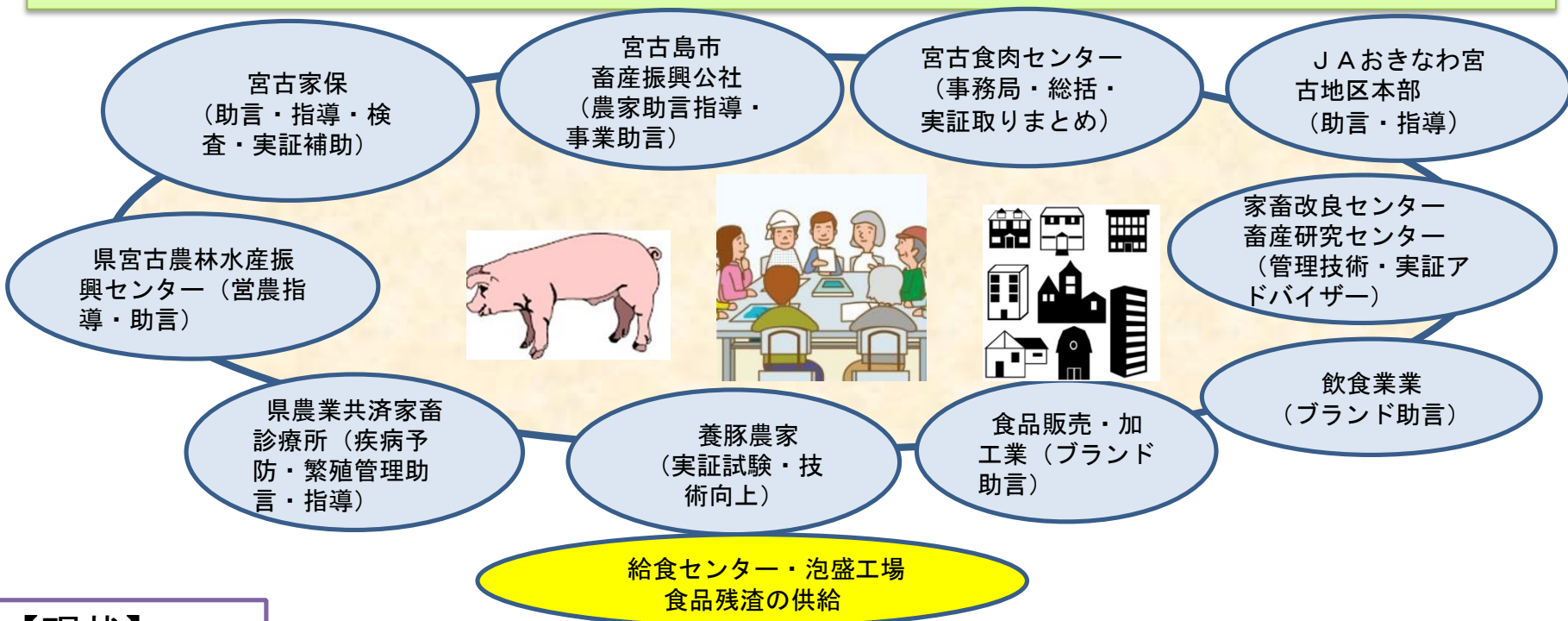


# 地域養豚の再生・発展を目指して地域関係者が連携した畜産クラスター事例

## 宮古地域養豚エコブランド確立推進協議会

沖縄県宮古地域

食品残さを利用したエコフィード飼養衛生管理技術の構築及び「宮古エコブランド肉豚」の創出による地域養豚再生の実現



### 【現状】

年間産子(母豚1頭当) )  
20頭  
年間出荷頭数(母豚1頭当)  
8.7頭  
日増体量  
0.32Kg~0.53Kg  
肉質  
すべて等外  
※養豚業として成り立っていない現状

### 【実証内容】

- ①食品残さと配合飼料との給与割合の検討及び実証試験 → 増体、発育、代謝等を検査・評価し、給与プログラムを確立
- ②生産性向上のための飼養管理技術の改善 → 生産性阻害要因防除プログラムの確立
- ③エコフィード利用地域ブランド肉豚の検討及び実証試験→繁殖性・肉質、嗜好性等を分析し、ブランド化を検討

### 【効果】

- ①地域生産の向上  
地域肉豚出荷実績735頭(H26)→1300頭(H31)  
子豚育成率の向上→母豚1頭当たり年間仕上げ頭数8.7頭(H26)→11頭(H31)  
出荷日齢 266日(H26)→240日(H31)  
地域養豚経営再開 11戸(H26) → 13戸(H31)  
枝肉重量 65kg/頭(H26)→75kg/頭(H31)
- ②付加価値の向上  
地域エコブランド肉豚の創出